



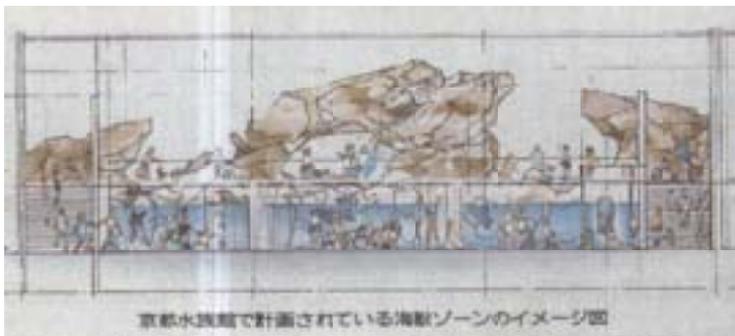
イラストは、いきもの多様性研究所ホームページ

梅小路公園公園に 水族館は、 いりまへんやろ



上は、梅小路公園広場の内 までが水族館予定地

下は、京都水族館の海獣ゾーンイメージ図・京都新聞よりコピー



京都水族館で計画されている海獣ゾーンのイメージ図

京都に水族館をつくる計画があるのを 知っていますか？ 第8回「梅小路公園の未来を考える会」

ご案内 ~みんなでアイディアを出し合い、
より魅力的な梅小路公園へ~

日時・ 2010年2月28日(日)午後3時~6時

会場・ 本山 獅子谷 法然院
(京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ段町30番地)

**利益優先の
水族館不要**
中京区・川越 潔子
京都市の梅小路公園に「イルカショウ」を中心にした水族館をつくらんとする計画が、明らかにされました。市民のひとりとして、動物の命を省みない企業の利益優先の考えを受け入れることはできません。特に、つくりたい理由として「よそにあるのに京都にないから」には、あぜんとさせられます。かつ「、同じ理由で建てられ

たテーマパークや飛行場は今、どうなったのでしょうか。現代は、生活のあり方ももちろん、色や形までも全国同じようになり、「その町らしさ」を失っています。その上、どこでも「コンビニ」と言われるように、多様な生活文化を伝えてくれた商店が姿を消して、町は元気を失いました。

先日、北嵯峨を訪ねましたが、歴史的な建造物は、今もなお、人の知恵と技を見る人に伝えてきます。緑と水の間には、小動物、鳥、魚、虫たちが支え合って生きていく輝きがありました。そこに人は、心の安らぎを得、美をみます。京都市は、人工海水で動物を消費財として扱う野蛮さは、京都の心と相いれない」と宣言してほしいと思います。京都がよそと異なっただけなら、訪れる人はいなくなるでしょう。【注】この文は、2月19日 京都新聞【窓】読者の声に掲載されたものです。

「京都市下京区の梅小路公園の一角に、オリックス不動産株式会社が国内最大の内陸型水族館を、また西日本旅客鉄道株式会社が鉄道博物館の建設を計画しています。」

2月3日にはオリックス不動産株式会社が水族館建設に関する地元説明会を開き、2月7日には梅小路公園で水族館建設に反対する市民が集まって建設予定地を囲む人の輪が作られました。私どもは昨年6月以来7回に亘って「考える会」を開き、京都市議会に議員同士の議論を期待する請願書を提出させていただきました。

民間企業であるオリックス不動産が計画を立てられることは自由ですが、環境保全都市を掲げる京都市が恵まれた山や森や川での環境学習ではなく、わざわざ民間企業に市有地を提供し、イルカなどに不自然な暮らしを強いながら水族館での環境学習を推進しようとしていくことに私は賛同できません。しかし、同時に賛同、反対する市民同士で、各々の正当性だけを主張する『議論』ではなく、互いの考えに対する理解を深める有意義な『対話』の場が増えればと願っております。

今回は水族館建設に代わる対案について話し合い、広く梅小路公園の未来を考えます。

どうぞご参集下さい。合掌」
法然院 貫主 梶田真章

提案・市民の力で公園の

防災や景観と共存できる

施設がつかれないか！

下に2つ歌詞で「水族館」

はアカンと思ってること

提案の考え方を書きました。

昨年、始めて水族館予定地

を実際に見て、大きさと共に

勿体ないと思いました。

これだけの土地を自分ならど

う使うか？と考え続けてこの

「歌」になりました。

営利目的のテーマパークは

論外として、京都市は「お金」

も要るのです。そんな時に

「やねだん」の放送を見ま

した。又、最近ゴミの島「豊

島」で61才の方が、一人で

万本もレモンの木を植え、島

おこしに成功されたことも知

りました。

京都はその村や島よりモット

有利な町です。しかも祇園祭

も学校も町衆が力で、つくり

育てた歴史があります。市民

が極僅かづつ協力すれば道は

開けると思つたのです。先に

提案のある「こども鉄道案」

も将来組み込めるでしょう。

この動きを通じて「梅小路公

園」認知、活用（努力要）が増

え地域にも良い影響を与えて

しよう。私たちの先輩が出来

たことを、その時代よりモッ

ト驚沢な生活をさせて戴いて

いる今の京都市民ができない

など言つたら「罰」があたり

ます。と提案者は思うのです。

水族館アカン（理由）節

作詞・ヨシイちゃん

海なし京都（市）に水族館

何かチヨットケツタイヤヤ

誰が決めたか知らんけど

組んだ相手はオリックス

儲けるつもりが儲からず

建物残して逃げるかも

後の始末ワテらはかなん。

イルカのシヨウが目玉とか

狭いところで芸さされ

ストレスたまつて早く死ぬ

動物いじめは落語で沢山

東寺の塔から見るとこ

弘法さんは顔しかめ

親鸞様も困ります。

建都一千二百年（まぐさ）

防災用も兼ねている

公園狭（せ）ばめて

ドナイする

京都市民は全員地主

無断で貸し借り出来んはず

説明サボリやアカンゾな。

竜馬キツトそう言うぞえ

（な？）。

【元の詩】

丸竹夷二押御池

姉三六角蛸錦

四綾仏高松万五条

雪駄ちやらちやら魚の棚

六条三哲とおろすぎ

七条こえれば八九条
十条東寺でとどめさす

仮称

市民立

梅小路果樹公園

提案の歌

作詞 ヨシイちゃん

(一)

桃栗三年 柿八年

梅小路には 梅植えて

樹木の周りは 花鳥

果樹花公園

造りましょう。

(二)

花も実もある 公園に

トンボ蝶々テントウ虫

桃花鮮やか 梅香り

栗柿たんと

実をつける

(三)

太陽パネルで塀づくり

起こした電気

水を汲み

小川に流せば蟹ほたる

池では泥鰌も

育ちます

(四)

花を育てる お年寄り

子供は水に 親しんで

綺麗な空気を 胸一杯

老若男女 お健やか。

(五)

イルカをいじめる

こともなく

子供はトンボと戯れて

花育人 道歩き

地元もお店も

ニッコリコ。

(六)

温暖化は 押さえられ

地球に優しい

都市となり

さすがは議定書

決めた都市

その名は世界に

響くだる

(七)

この公園は 市民立

役所に頼らず自主運営

地代も払って自立して

市民の力で

つくりましょ

(八)

ワテらの力じゃ

それは無理

否、大丈夫 京都なら

祇園祭も 学校も

昔、町衆が

つくつたんや

(九)

地代はタツタの

五千万

月千円の応援を

五千も集めりや

釣りがある

後はやる気の

有る無しさ

(十)

やる気があるなら

直ぐ動こ

相手は横綱オリックス

アチコチ走つて人集め

町衆の力で

押し出した

(十一)

三年目で 桃と栗

八年経てば 柿実り

梅が咲けば 鶯や

夏の夜 蛭も乱れ飛ぶ

(十二)

東寺お西さつん

喜ばれ

海のイルカに感謝され

オリックスも格上がり

市長の顔も京都晴れ。

町衆の力は今もあり。

【どうややっぱり

できたやろ】

チャンチャンチャン

「幼馴染」ニかけニかけ

の節で歌えます。

文・昔詩ヨシちゃん 酒谷義郎

勤務先・姉サカタニ

東山区075-561-7974